



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月7日
東

上場会社名 株式会社メディア工房 上場取引所
 コード番号 3815 URL <http://www.mkb.ne.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長沢 一男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長沢 和宙 (TEL) 03-5549-1804
 四半期報告書提出予定日 2023年7月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の連結業績(2022年9月1日~2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	1,531	△8.4	37	△76.8	30	△80.3	13	△87.3
2022年8月期第3四半期	1,672	23.3	162	—	154	—	109	—

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 13百万円(△87.4%) 2022年8月期第3四半期 109百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年8月期第3四半期	円 銭 1.38	円 銭 —
2022年8月期第3四半期	10.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年8月期第3四半期	百万円 2,854	百万円 1,323	% 46.4
2022年8月期	3,006	1,355	45.1

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 1,323百万円 2022年8月期 1,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 4.50	円 銭 4.50
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,035	△7.6	65	△66.4	55	△69.7	30	△80.5	2.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2023年8月期の通期業績見通しは、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします。



※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期3Q	11,300,000株	2022年8月期	11,300,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	1,221,077株	2022年8月期	1,221,077株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期3Q	10,078,923株	2022年8月期3Q	10,078,923株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載される業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用に当たっての注意事項等に関しては、添付資料「1. 経営成績・財務状態に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種制限の緩和等により経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直しがみられるものの、ウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギー・原材料価格の上昇、物価高騰や円安の進行など、引き続き不確実性に直面しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループは、引き続き既存事業における収益の維持・拡大、新規サービスの企画・開発並びに顧客獲得に注力してまいりました。しかしながら、古い新規コンテンツがヒットに恵まれず、ISP各社における古いコンテンツの配信停止等による影響を補うに至らなかった他、SNS事業における売上が僅少に留まっていることから、売上が前年同期比で減少いたしました。営業利益については、売上減少に伴う利益減少の他、インドアゴルフ店舗運営に係る固定費、新規サービスに係る外注費及び管理職候補人材の獲得に係る採用費の増加、並びにM&Aの検討に係る費用の発生により、前年同期比で利益幅が縮小しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、将来的な取引可能性等を理由として前連結会計年度に取得した未上場企業株式(取得価額20百万円)を、同社事業の状況や当社の今後の事業展開等を勘案し、売却することを決定いたしました。売却は当第3四半期連結累計期間以降となる6月に実行いたしました。意思決定の実質的要因が当第3四半期連結累計期間に存在することから8百万円の特別損失を計上しております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,531百万円(前年同期比8.4%減)、営業利益37百万円(前年同期は営業利益162百万円)、経常利益30百万円(前年同期は経常利益154百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益109百万円)となりました。

セグメントごとの取組み内容及び経営成績は、以下のとおりであります。なお、当社は、当第3四半期連結累計期間において、国内外企業との提携により、韓国食品EC及び韓国コスメECの企画・制作を推進しておりますが、当第3四半期連結累計期間においては企画・制作段階のため、各セグメントいずれにも記載はございません。

また、韓国食品EC「アイゴー」は本短信提出日現在リリースを完了(2023年6月リリース)、韓国コスメEC「CoréelleJAPAN」については本年7月下旬から8月上旬頃にリリースを予定しておりますが、いずれも2023年8月期業績への影響は軽微であるとして、通期業績予想数値には売上高・利益ともに見込んでおりません。

① デジタルコンテンツ事業

デジタルコンテンツ事業においては、自社Webサイト、ISP、各移動体通信事業者及びApple や Google 等のプラットフォーム向けに古い鑑定や女性に向けた記事コンテンツを企画・制作・配信する、1対N向けのサービスを行っております。当第3四半期連結累計期間においては、新規コンテンツが不調となり、ISP各社における古いコンテンツの配信停止・縮小による売上減少を補うことが出来ず収益が減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるデジタルコンテンツ事業の売上高は933百万円(前年同期比10.9%減)、営業利益336百万円(前年同期比19.5%減)となりました。

② One to One 事業

One to One 事業においては、ユーザーと古い師をはじめとするキャストを電話等で直接結び付ける、双方向のやり取りを特徴とした1対1向けのサービスを行っており、サービスの内容は「古い」と「非古い」の二つに分類されております。当第3四半期連結累計期間においては、古いサービスの提供先プラットフォームの方針が集客に影響し、前年同期で収益が減少しております。営業利益においては、売上減少に伴う利益減少の他、顧客・取引先管理システムに関する減価償却負担及び積極的な採用活動による採用費の増加が利益を一時押し下げております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるOne to One 事業の売上高は592百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益68百万円(前年同期比26.1%減)となりました。

③ XR 事業

当第3四半期連結累計期間のXR 事業においては、全社リソースの配分を勘案した結果、開発人員をSNS事業の新規サービス開発に投入したため、XR事業としての売上は発生しておらず、一部人件費等の固定費が費用として計上されております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるXR事業の売上高は一百万円(前年同期は売上高0百万円)、営業損失8百万円(前年同期は営業損失9百万円)となりました。

④ SNS 事業

SNS 事業においては、ソーシャルプラットフォームの企画・運営及び株式会社LoungeRange（本社：東京都品川区 代表取締役：古川 真一）とのフランチャイズ契約に基づく会員制インドアゴルフの店舗運営を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、ゴルフSNS「CarryGo!」を4月にリリースした他、フォトグラメトリ技術による仮想共同空間を搭載した団体性マッチングアプリ「OneRoof」の改修及びインドアゴルフにおける会員獲得に注力してまいりました。

売上については、リリース後のアンケート調査・意見募集をもとにサービスの改善・改修を図るため、現時点において広告宣伝を行っていないことから、各サービス僅少となりました。一方、インドアゴルフ店舗及びソフトウェア償却費等の固定費が発生しておりますため、営業損失を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるSNS事業の売上高は2百万円（前年同期比67.5%減）、営業損失99百万円（前年同期は営業損失104百万円）となりました。

なお、「CarryGo!」については本年7月、「OneRoof」については秋頃に改修版のリリースを予定しております。

⑤ その他

当社グループは、2020年8月期から2021年8月期にかけて、事業の選択と集中のため、ゲームコンテンツ事業及びインバウンド・アウトバウンド事業から撤退しておりますが、一部については取引等を継続しております。当第3四半期連結累計期間において発生したこれらの撤退事業に関連する取引等の売上については、一括して「その他」セグメントとして区分し、計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は1百万円（前年同期比53.1%減）、営業損失11百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の当社グループの財政状況は以下のとおりです。

なお、資本の財源及び資金の流動性にかかる情報については、当第3四半期連結累計期間において、重要な変更等はございません。

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して151百万円減少し、2,854百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少166百万円、売掛金の減少23百万円及び無形固定資産の増加58百万円によるものです。

資産の内訳は、流動資産2,533百万円、有形固定資産32百万円、無形固定資産92百万円及び投資その他の資産196百万円となっております。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して119百万円減少し、1,530百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の返済による減少71百万円、未払法人税等の減少11百万円、未払消費税等の減少18百万円及び長期借入金の返済20百万円によるものです。

負債の内訳は、流動負債940百万円、固定負債590百万円となっております。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して31百万円減少し、1,323百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少31百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、4つの事業に経営資源を集中し、デジタルコンテンツ事業及びOne to One 事業を中心として安定的かつ長期的な収益を確保すると同時に、成長事業に積極的かつ継続的な投資を行うことで経営の多角化を推進し、業績及び時価総額の向上に努めてまいります。

また、財務面に関しましては、これまで同様、資産の透明性を確保し、新規事業への挑戦を安定した内部留保によって下支えする健全な経営を行う考えであります。

なお、各事業別の見通し及び2023年8月期の通期業績見通しにつきましては、2022年10月7日の「2023年8月期決算短信」で公表しました通期業績予想から、以下の通り変更しております。詳細については2023年7月7日付で開示いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

・2022年10月7日公表予想（修正前）

売上高2,150百万円 営業利益150百万円 経常利益140百万円 親会社株主に帰属する当期純利益95百万円

・2023年7月7日公表予想（修正後）

売上高2,035百万円 営業利益65百万円 経常利益55百万円 親会社株主に帰属する当期純利益30百万円

これらの数値は、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。従って、新規事業の進捗に変更がある場合、利用ユーザー数が大幅に見込みを上回る若しくは下回る場合又は当社グループ事業に関連する法令が改正されあるいは情勢が変化した場合、変動する可能性があります。なお、当社は、当第3四半期連結累計期間において、国内外企業との提携により、韓国食品EC及び韓国コスメECの企画・制作を推進し、韓国食品EC「アイゴー」は本短信提出日現在リリースを完了（2023年6月リリース）、韓国コスメ「Coréelle JAPAN」については本年7月下旬から8月上旬頃にリリースを予定しておりますが、いずれも2023年8月期業績への影響は軽微であるとして、通期業績予想数値には売上高・利益ともに見込んでおりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,384,111	2,217,728
売掛金	287,102	263,169
商品	68	43
仕掛品	9,796	6,888
貯蔵品	326	311
その他	35,728	45,607
貸倒引当金	△737	△549
流動資産合計	2,716,395	2,533,199
固定資産		
有形固定資産	42,546	32,646
無形固定資産	34,103	92,607
投資その他の資産		
敷金及び保証金	93,001	92,704
その他	120,289	103,961
貸倒引当金	△235	△235
投資その他の資産合計	213,055	196,430
固定資産合計	289,706	321,684
資産合計	3,006,101	2,854,884
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,203	54,534
1年内返済予定の長期借入金	799,748	728,348
未払費用	43,649	40,600
未払法人税等	11,722	405
未払消費税等	18,317	147
その他	109,139	116,181
流動負債合計	1,039,781	940,217
固定負債		
長期借入金	610,894	590,716
固定負債合計	610,894	590,716
負債合計	1,650,675	1,530,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,459	451,459
資本剰余金	422,578	422,578
利益剰余金	996,518	965,028
自己株式	△514,204	△514,204
株主資本合計	1,356,352	1,324,862
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△926	△911
その他の包括利益累計額合計	△926	△911
純資産合計	1,355,426	1,323,951
負債純資産合計	3,006,101	2,854,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	1,672,170	1,531,068
売上原価	820,113	760,198
売上総利益	852,056	770,870
販売費及び一般管理費	689,453	733,132
営業利益	162,603	37,738
営業外収益		
受取利息	15	11
債務消滅益	1,683	-
その他	249	268
営業外収益合計	1,948	280
営業外費用		
支払利息	9,476	7,671
その他	972	6
営業外費用合計	10,449	7,677
経常利益	154,101	30,342
特別損失		
減損損失	31,192	-
投資有価証券評価損	-	8,000
特別損失合計	31,192	8,000
税金等調整前四半期純利益	122,909	22,342
法人税、住民税及び事業税	32,274	1,327
法人税等調整額	△18,723	7,149
法人税等合計	13,551	8,477
四半期純利益	109,358	13,864
親会社株主に帰属する四半期純利益	109,358	13,864

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	109,358	13,864
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	512	14
その他の包括利益合計	512	14
四半期包括利益	109,870	13,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,870	13,879

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デジタル コンテンツ 事業	One to One 事業	XR 事業	SNS 事業	計				
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	1,047,887	611,939	10	8,767	1,668,605	3,565	1,672,170	—	1,672,170
外部顧客への売上 高	1,047,887	611,939	10	8,767	1,668,605	3,565	1,672,170	—	1,672,170
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,047,887	611,939	10	8,767	1,668,605	3,565	1,672,170	—	1,672,170
セグメント利益又は セグメント損失(△)	417,816	92,518	△9,994	△104,873	395,467	△6,732	388,735	△226,132	162,603

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゲーム事業などの事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△226,132千円には、各報告セグメントに配分していない
全社費用226,132千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「SNS事業」において、当初想定していた収益が見込めないため、一部の資産について減損損失を計上してあります。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において31,192千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デジタル コンテンツ 事業	One to One 事業	XR 事業	SNS 事業	計				
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	933,609	592,939	—	2,846	1,529,395	1,673	1,531,068	—	1,531,068
外部顧客への売上 高	933,609	592,939	—	2,846	1,529,395	1,673	1,531,068	—	1,531,068
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	933,609	592,939	—	2,846	1,529,395	1,673	1,531,068	—	1,531,068
セグメント利益又は セグメント損失(△)	336,229	68,370	△8,816	△99,319	296,463	△11,750	284,713	△246,974	37,738

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゲーム事業などの事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△246,974千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用246,974千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。